

インタビュー 2度の更新をした運営委員長の小澤さんに聞いてみました！
ビュー 「10年前と変わったことは？」（ガーデンハウス鹿の子台ハーブの里第2地区）

ガーデンハウス鹿の子台ハーブの里は自然環境が豊かで閑静な住宅街です。周辺に3つの建築協定があり、第2地区では2度目の更新が行われました。

Q. 今回と10年前の更新でやり方を変えたことはありますか？

A. 初回（前回）の更新では、協議会のマニュアル通りに総会を開き、協定書も全戸に再度配布するなど、新たに協定を締結するくらいの気持ちで丁寧に取り組みました。そのせいか、建築協定の意義や内容については、その時点である程度理解していただけだと思っています。その後入居された方には個別に訪問して説明し、特に最近の方には近々更新があるということも前もってお伝えしておきました。そういった経緯もあり、今回はあえて総会は開催せずに、アンケート形式でみなさんのご意見をお伺いをすることにしました。全員が賛成という結果でしたので、あとは計画通りに事務手続きを進めていきました。



Q. この10年で見直すべき協定内容がありましたか？

A. 今回はありませんでした。前は、一人協定で作った協定を開発事業者自らが疎かにしたという問題がありました。そこで、更新の機会に加入者のみなさんから広くご意見をいただき、本来の協定の趣旨を反映しつつ、既にある建築物が違反にならないように、時間をかけて協定内容の調整をしました。その後の10年間は違反らしき違反もなかったので、今回の更新では変更意見はありませんでした。

Q. どのような内容だったのですか？

A. 『ガーデンハウス・ハーブの里』と冠しているように、塀については緑化や高さ制限の細かい規定があったのですが、開発事業者自らがレンガ積みやぬりかべを推奨していました。ただし、そこまで高く圧迫感のある塀でもなく、おしゃれな感じで景観を損なうようなことも全くなかったので、塀の前への植栽をお願いするなどして、協定の精神や趣旨をお互いに尊重しあっていくような運営を心がけました。

Q. 今後の10年について抱負のようなものはありますか？

A. これからの10年は、今までの20年以上に、住宅も住民の構成も大きく変わっていくものと予想しています。以前、先輩の運営委員長に「建築協定のありがたみが本当にわかるのは30年経ってからだ」と言われたことがあります。最初のうちは受益と負担のバランスが今一つわかりづらく、つつい運営の気苦労や事務手続きのやらされ感にばかり目が行きがちでしたが、みんなで守り育ててきた建築協定が、いよいよ『存在感』を発揮するときがやって来るのではと、内心楽しみにしています。

お願い 運営委員長変更届をご提出ください！

そろそろ、運営委員長を交代される地区が多くでてくると思います。運営委員長を交代された場合は必ず「**運営委員長変更届**」を神戸市まで提出してください。様式や書き方の詳細は神戸市ホームページにあります。

また、旧運営委員長から新運営委員長への引継ぎをお願いします。

引継ぎ資料の例

- ①建築協定書 ②事前協議に関する資料 ③認可、更新申請時の資料
- ④運営委員会のお仕事メモ ⑤建築協定マニュアル など

お知らせ 新年度も「総会」&「セミナー」を開催します

- ▶ 総会 & スタンダードセミナー
- ▶ ステップアップセミナー & 個別相談会

開催時期及び開催方法については、新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら検討します。

詳細は決まり次第、各地区運営委員長へご案内します。

ご相談、お問い合わせは、神戸市建築安全課（TEL 078-595-6555）まで（編集後記）今年度もお世話になりました。新年度もよろしくお祈りします。

協議会のホームページもご活用ください！

神戸市 建築協定

検索